



# 渡辺よしお通信

発行

新発田市議会議員

渡辺 喜夫

連絡先

新発田市 西名柄

(下名柄) 3129

☎ 22-6724

FAX 22-6730

## 私の一般質問（要旨）

### ★未婚・晩婚の現状認識と対策について

〔質問〕 私が市議会議員となって、4か月余りになります。今日まで市民の様々な要請、要望をお聞きをして参りました。結婚の縁結び役を新発田市で何とか出来ないか、結婚適齢期を過ぎたと思っている未婚者やその親の深刻な相談が寄せられる。市民の切実な要望に行政として何らかの手を打つべき時ではないか。少子化対策の一環で未婚・晩婚対策を行い、効果を上げていいる他県の状況がある。

新発田市の将来を考える時、一番肝心である末端の市民や個々の家庭の基盤が将来、盤石であるべきです。各家庭、家族の担い手は新発田市の担い手だからです。市の年代層別の未婚率の実態をどの様に認識し、また対策を考えているのか。

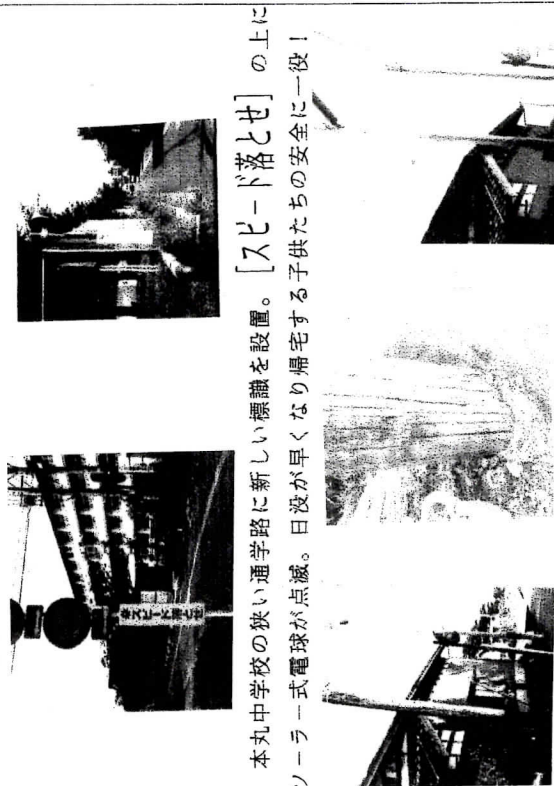
〔市長〕 未婚率は若い年齢層を中心に男女とも上昇を続けております。25歳から29歳では、昭和55年に19.9%であった未婚率が平成12年には48.8%に平成17年には54.1%に上昇しております。30歳から34歳でも昭和55年6.6%から平成12年には22.3%に、平成17年には28.9%と、こちらも著しい上昇を示しております。最近の出生率の低下及び少子化の要因の一つと考えられます。結婚については個人の価値観、人生観に関わる事。出会いや結婚の仲介などの行政関与の在り方については検討課題である。

〔再質問〕 新潟県では今年4月から数回、有識者からなる「出会いの場、子育て支援懇談会」を開催しております。「出会いの場」についても行政が関わる事で、安心感が生まれるそうです。また、「世話焼きさん」の認定制度といった事も検討されたそうです。

この有識者懇談会の内容を新潟県としては来年度の施策で具体化をする様です。県の動向を見据え、広域的な視野で新発田版の対策を要望すると共に、再度、市長の考えは？

〔市長〕 結婚についてはプライベート的な事柄なので、大変に取り扱いが難しい。以前に新発田市としても「出会いの場」を作った経過があります。参加者が少なくなり、なかなか効果が見られなかった。来年度、新潟県で何らかの対策を取るようでしたら、市としても前向きに検討したい。

### 地域のご要望を実績に



本丸中学校の狭い通学路に新しい標識を設置。[スピード落とせ]の上にソーラー式電球が点滅。日没が早くなり帰宅する子供たちの安全に一役！

道賀町内の街灯電柱が根元で腐食、すぐに新しい街灯電柱に取り換えしました